

CivicPride探求部！

それいけ！岩見沢

まちの誇りを見つけに行こう！

※写真提供協力／岩見沢市史資料室



文：平野 義文

岩見沢CivicPride探求部
主宰、そしてハチ吉くんの
パパさん僕もパパさんと
一緒にさがすワン！平野ハチ吉
ゴールデンレトリバー
オス・2歳

岩見沢って どうして出来たか 知ってる？

1

み なさんご承知の通り、北海道は元々アイヌ民族が住んでいた場所。この岩見沢周辺では、今言う「幌向」の旧石狩川の合流点付近や栗丘にも集落があったらしい。でも今の岩見沢中心部には誰も定住者はいなかった。まさに鬱蒼と茂る原生林が広がっていただけ。

普通、人が住みついてまちができる場所は、川と川の接点だったり、山と山の間の中山間地域だったりするけれど、岩見沢はそのどちらでもない。飲み水

にも苦労したし雪は多い、あぐくのほてに泥炭の湿地帯も多いしでもう逆境だらけ！普通では人が住み着くような場所ではなかったと思われる。なのにまちができた…。

言われているのは明治元年、小樽のお寺を建てるのに良い木材を探すため、三笠の山に入った人が偶然見つけた黒く光る石。これが北海道開拓使の耳に入って、「もしや石炭ではないか？」と調査をしたら、とても良質な鉱脈が広

範囲に渡って存在することがわかった。当時は明治維新直後の産業革命真っ盛り。何よりエネルギーはとても大事！今でこそ石炭は馴染みのないけれど、当時は文明を切り拓く超最先端エネルギーです。明治新政府は何とかしてその石炭を本州へ運びだすために、御雇米国人（※1）の力を借りて北海道開拓使直営で三笠に幌内炭鉱を開鉱することとなるのです。



岩見沢駅構内を走るD51、昭和50年8月。

石 炭産業は巨大総合輸送業ともいわれるように、地中から地上へ、産炭地から消費地へと大規模な物流が生まれる。この幌内で採掘された石炭を、どうやって本州まで運ぼうかと考えたときに鉄道が採用されることになった。

当初は江別太の石狩川まで鉄道を敷いて、石狩川から船で本州へ運ぶことが決まったものの、冬は凍結して運び出しができない時期があることから、冬季も波が穏やかな太平洋航路を実現できる室蘭に港をつくり、そこまで鉄道で運ぶ案が出る。しかし費用と工期の関係で小樽の手宮に石炭積み出しの港をつくり、その間に鉄道を敷くことになった。

ここに日本で3番目の早さで敷かれた官営鉄道、手宮―幌内線が開通する。

この3案、どれをとっても鉄道は岩見沢を通過することになるが、何はともあれ明治15年、岩見沢に定住者がいないまま、現在の元町にある人道踏線橋の辺りにフラッグステーションと言われる駅ができたのです。岩見沢は「人が住む前に駅ができた。まさしく駅がまちをつつたまち」と言って良いのですね。

その後、幌内だけだった炭鉱はあつと言う間に南空知一円で開発され、それらを運ぶ鉄路が伸びる。いよいよ小樽からだけでは積み出せなくなると、明治25年、念願の室蘭に港をつくり、そこまで鉄道が伸びる。また、大正に入ると万字線ができる。まさに北海道の鉄道は岩見沢を中心に東西南北に伸びていったといっても過言ではないのかも

しれません。

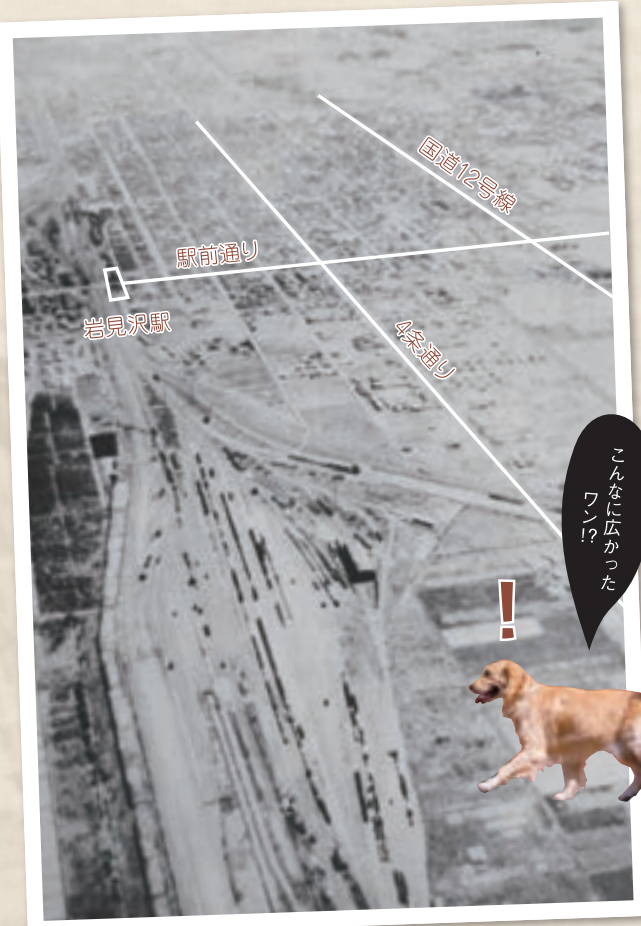
ちなみに、この鉄道を敷く前の道路開削時に、札幌―岩見沢間で5箇所の官営休泊所ができ、そのうちのひとつが現在北本町にある「岩見沢発祥の地公園（※2）」と言われる。ここで川の水を汲み、湯を浴びたことから「ゆあみ澤」となり、それが転じて「岩見澤」となったのは、今も岩見沢神社にある。明治36年に石黒長平氏が岩見沢開基20年の記念に建立した「厳見澤紀碑」に記載されている通りですね（諸説ありますが）。

実 はこんな事が岩見沢の生い立ちです。空知一円で採掘された石炭を本州に向けて運び出すため、一度

岩見沢に集められては、小樽方面や室蘭方面に振り分けられる。また、この鉄道が運んできたのは、石炭や農産物だけでなく、例えば小樽で海産物を仕入れたおばちゃんや、行商列車に乗って岩見沢駅前店で店を開く。それを目当てに近郊の産炭地の商店から買い付けにきて、モノを仕入れれば自分たちの地域に帰る。まさにこの鉄路は、石炭や農産物、各種商品だけではなく、文化、価値観、情報等々、あらゆるものが岩見沢に集まっては各地に散っていく。そんなHUBのまちとして発展してきたのだと思っています。次回はそんな岩見沢開拓と鉄道の記憶が残る、岩見沢複合駅舎の楽しみ方を中心にお話させてもらいます。



岩見沢神社境内にある「厳見澤紀碑」。明治38年に、当時実業家であり政治家であった石黒長平氏が岩見沢村の苦勞を後世に伝えようと、開基20年の記念として寄贈した。岩見沢市指定有形文化財。



東北以北最大と言われた操車場。近隣の炭鉱の閉山により昭和55年に廃止された。ピーク時は取扱貨物車数約4千輛/日。岩見沢駅の乗降客数が約2万人/日というとても活気に溢れた場所だった模様。



鉄道三知識

日本で最初に敷かれた鉄道は新橋―横浜間。2番目が大阪―神戸。これらは既存の都市を結ぶ鉄道で、技術や設備もイギリス製でした。しかし北海道はアメリカ製。その特徴も既存の都市を結ぶのではなく、石炭の産炭地をつなぎ、後から人が増えて町ができる。これはアメリカの鉄道が鉱山を結んでできたのとはほぼ同じ性質。鉄道が出来てから町が大きくなる。また、アメリカ横断鉄道は2,800kmを僅か6年で完成させた。クロフォードなどはその大工事が終わって一息ついてるところに開拓使から依頼が来たため、北海道で僅か90kmを2年で繋ぐのは大したことでなかったのかもしれない。北海道新幹線は函館から札幌までの延伸は2030年と言われているので、当時のスピードの凄さを感じずにはいられませんね。

さらに、どこかでご紹介させていただく予定ですが、約130年前にクロフォードが発注し、アメリカのフィラデルフィアでつくられ、ニューヨーク港から小樽港に水揚げされ、岩見沢市内に架けられていた双子の100フィートのアメリカのトラス鉄橋のお話もどうぞお楽しみに！

CivicPride探求部!

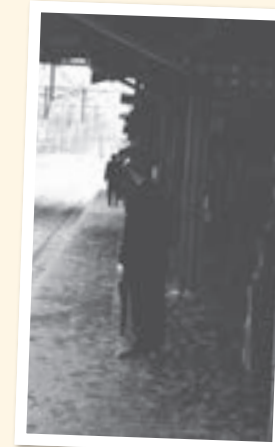
それいけ!岩見沢

まちの誇りを見つけに行こう!

1

岩見沢って
どうして出来たか
知ってる?

岩見沢駅ホーム。列車の到着を待つ車掌。昭和55年3月。



(※2)ビッグネームが続々登場!
現在の「岩見沢発祥の地公園」付近に
あったと言われる北海道開拓使直営の
休泊所。当時の明治政府にとって幌内
炭鉱は国の行く末を左右するほどの一
大プロジェクト!当然続々と明治政府
の要人が視察をするが、その際、通り
道となるこの場所を通っていったと思
われます。有名なところでは、伊藤博文、
山形有朋、大島圭介、黒田清隆、
Et c...。ちなみにライマンと榎本
武揚は、この地で野営をしたという記
録まであるらしいです。

*ライマンは北海道開拓使が招聘した
御雇米国人の一人で地質学者。
*榎本武揚は明治維新の際、幕府軍と
して新撰組の生き残りなどと共に函館
の五稜郭に布陣し、戊辰戦争の最後と
なる箱館戦争を展開。最後まで抵抗す
るも新政府軍に降伏して投獄される。
その直前、海外留学で入手した貴重な国
際法の原書「万国海律全書」を焼失して
しまったのは国のためにならないと、敵
である黒田清隆に贈呈する。それらも
背景にあったと思われるが、優秀な人



バスターミナルを兼ねていた昭和40年代の駅前。



SLが集結する岩見沢第1機関区、昭和47年3月。



僕の知らない岩見沢が
いっぱいあったワン!
次回もお楽しみに!

材を日本の未来のために登用するとい
う考えから、黒田清隆が明治政府の中
枢に働きかけ、元々敵でありながら新
政府の要人として迎え入れたほどの人
物。榎本は出獄後、幌内炭鉱等の調査報
告を行い、日本の近代化になくてはな
らない働きをする。明治15年に幌内神
社に自筆の大きな社額をかけ、幌内炭
閉山後、その社額は隣町の峰延神社に
移され、現在も宝殿に大切に保管され
ている。

シビックプライド(Civic Pride)って何?

「まちへの誇りや愛着」という意味で訳すことができる言葉です。私達は意外と自分たちのまちの事を
知らないと感じる事が多いです。でも色々なエピソードやそこであったドラマなどを知ると「岩見沢
って凄くないか!!」と思うことが多々あります。このコーナーでは、老若男女にあまり知られていない「岩
見沢の“へえ〜!”」をお伝えできたらと思っています。尚、私は歴史の専門家ではないため、何かの文献で読
んだこと、聞いたこと等を中心に紹介させていただきます。その根拠となる一次資料を探して確認して…。と
いう事まではしていませんので、もしかしたら間違ったことを言っているかもしれませんのでお許しください。
でも、これがきっかけで地域の事に関心を高めてくれると嬉しいな!とも思っています。さあ、みんなで岩見
沢の誇りとなるものを一緒に探しにいきましょう!キーワードはゆる〜く楽しく気楽にね。(平)

4月14日(金)
福家Café
いよいよ今年もオープン!渡辺 志織
オーナー

「今年からロカボランチも始める予定です。昨年好評だった手作りお菓子屋さんや、チクチクCafeといったイベント、ご近所野菜の販売、また、陶芸など新しい教室も始まりますので是非覗いてみてください!」
*ロカボとは、「美味しく楽しく適正糖質」のこと。極端な糖質抜きではなく、美味しく楽しく適正糖質をとることが大事です。

0126-36-3611
岩見沢市北村中小屋4341番
毎週金土日営業
11:00~18:00(ランチ11:30~14:00)

<http://www.fukuya-cafe.jp/>

ガーデン鈴木の
心うるおす
幸せのガーデンすずき たけひこ
鈴木 雄彦

株式会社ガーデン鈴木代表。
祖父の代から始まった庭造り
を受け継ぎ緑の力をかりて、
お客さんの暮らしを豊かにす
ることを目標にしている。一歳
になったばかりの息子と遊ぶ
のが最近の楽しみ。

雪 解けも進み、庭づくりの季節
がやってきます。ガーデナー
の方にとっては、何を今年はし
ようか、何を植えるか楽しみな時機到
来です。お店に行きますという人な
種類の草花、樹木が売っています。
どのような住宅にお住まいかによっ
て、ガーデニングのデザインは変わる
のですが、重要なことがあります!
皆さん「緑」と「縁」の違いが判ります
か?私は時々こつちゃになってしま
うのですが「みどり」と「えにし」
の二つは似ています。漢字の由
来的には関係ないようですが、個人
的に勝手に結びつけています(笑)。
太古の昔から人は植物と共存してき
ました。人と植物は切っても切れない
関係なのです。そう、繋がっているとい
っても過言でないのです!!休日に
森、林に行ってみてください、人は緑
に癒されます。DNAに刻まれている
のかもしれない(笑)。育てたり手
入れしたりするのは嫌いでも、見る
のも嫌いという人は少ないのでは!
プランターでも鉢でも地植えでも
何でも良いです、目に見えるところ
に緑を植えてください。樹木でなく
てもいいです、野菜でもいいです、
ハーブや一年草など比較的手のかか
らない植物でもいいです、鉢に緑が
あるだけでもガーデンの印象は大き
く変わります。
暮らしに緑を、心にゆとりをこの
考えが「心うるおす幸せのガーデン」
の一步目になるのではないでしょ
うか。そんなガーデンを目指して、一
つずつ情報を提供していきたいと思
います。



ガーデン鈴木
岩見沢市上幌向町811番地
TEL/FAX 0126-26-6120

ガーデニングシーズン到来! ガーデンで生活をより豊かに
創業50年の信頼と実績。ガーデン鈴木は、家周りの全てをトータルでご提案いたします。

●樹木の移植・剪定・伐採・伐根 ●お庭のリフォーム・ガーデン工事
●エクステリア・外構工事 ●除排雪 ●ドッグラン工事 などなど。

たくさんの素材・建材のうち、何を選んでいいかわからない時も
ご安心を!ご予算内のベストをご提案します。

まずはご相談を!
お見積り・
プランニング無料



Facebook 「株式会社 ガーデン鈴木」で検索!



Instagram

garden._suzuki

<http://www.garden-suzuki.com>

後
カフェ

札幌に
5月オープン!

読む
聴く
触れる
五感で感じる
谷川俊太郎さんの
世界

詩人・谷川俊太郎さん
の作品は、赤ちゃんか
らお年寄りまで、文字
通り老若男女に愛さ
れています。そんな俊
太郎さんの作品を、本
や音楽、グッズなど幅
広くご紹介する、小さ
な私設記念館のよう
な場所をつくりま
す。その名も「後カフェ」。
俊太郎さんのものだ
けを集めた店は(た
ぶんまだ)日本で唯一
です。ぜひ五感で、俊
太郎さんワールドを味
わってください。

●SHOP DATA

住所/札幌市中央区
南3条西7丁目
KAKU IMAGINATION 2F
11:00~20:00(毎週火曜定休)
問/090-2874-5642(古川)

目通し	西通し
資生館小学校	南3条通

読者
プレゼント

好きな詩を持ち歩ける幸せ、感じてみませんか?
抽選で2名の方に、谷川俊太郎さんの
リフィル型詩集をプレゼント!

[後カフェ]代表の古川奈央さんが谷川俊太郎さんの詩を編集した「宇宙」「愛」「いま、ここ」「未来」の4冊とオリジナルバインダーのセット。

●応募方法/氏名・住所と連絡先、件名に「詩集希望」と明記の上、
メールをお送りください。mail@i-collect.info

CivicPride探求部!

それいけ! 岩見沢

まちの誇りを
見つけに行こう!

※写真撮影協力/JR北海道



文: 平野 義文

岩見沢 CivicPride 探求
部主宰、そしてハチ吉くん
のパパさん今回もボクと
パパさんが
ナビゲートするワン!平野ハチ吉
ゴールデンレトリバー
オス・2歳おもしろ岩見沢駅
複合駅舎編

〜これであなたも駅舎ファン〜(前篇)

前 回のシビックプライド探求部はいか
がでしたか? 今回は岩見沢が生ま
れるきっかけとなった鉄道・岩見沢駅の現
在にスポットを当ててみますね。

まずは意外と知られていない事の一つと
して、2009年に完成した今の岩見沢複
合駅舎は、「日本中のJRグループの中で
初めて公算型デザインコンペで作られた駅
舎なのです。そのコンペでは、簡単に言う
と永年にわたり、まちの顔として変わら
ぬ価値を持つもの」「人とまちを繋ぐま
ちづくりの中核となるもの」という様な
テーマが掲げられました。

とにより、その地域、その利用者等々にど
の様な良い影響を与えられるか? という
事に思考を巡らせます。そのような観点か
らいっても、まちの玄関口であり、顔とな
る駅舎は非常にやりがいのある挑戦です。
結果、著名な方も含め、日本中の建築家
の方々が376作品の応募があり、その
中の最優秀賞として選ばれたのが東京の
(株)フクウイジョンズ(代表取締役 西村
浩氏の作品、すなわち現在の岩見沢複合
駅舎なのです。

設計者の西村浩氏は設計コンペへの参
加に先立ち初めて岩見沢へ下見に来た時、
一面の雪景色でモノクロの風景に驚いた
と聞いています。そこで岩見沢の歴史を
調べてみると鉄道が重要な要素をもつて

いる。しかし現状では多くの人がそのこ
とを忘れられつつあることを感じ、まち
の顔となる駅舎に生い立ちからのエッセ
ンスを織り込むべきと考えたそうです。
そこから窓枠に古レールが採用され、明
治期の構造物資材として一般的だったレ
ンガがモチーフにされました。結果として、
冬でも温かみのある赤レンガの色彩が岩見
沢の地域アイデンティティを語るが如くとな
っているのです。夜に浮かび上がる赤レ
ンガは本当に綺麗で温かい景観だと思っ
ています。

また、正面の壁の4、777個の赤レン
ガに刻印があるのは皆さんご存知ですょ
ね? これも西村氏の発案で、「まちの顔」
として、そして「人とまちを繋ぐ」「まちづ
くりのきっかけとして市民と共に実施され
たものです。実は私自身、2005年に縁
あってこの「岩見沢レンガプロジェクト」の
立ち上げに関わらなければ、岩見沢の歴史
に関心を寄せることも、まちづくりそのも
のに大きな興味を持つこともなく、現在は
全く違う人生を歩んでいたのだらうとも感
じています。それほど、この岩見沢駅と西

さて、駅舎に関するお話だけで「これっ
と」まるまる一冊ぐらい使えてしまいそ
うなので、今回は岩見沢以外の人に自慢で
きそうな特徴的な部分だけを前編と後編に
分けて、ご紹介させていただくことにしま
しょう。まずは今回は古レールに纏わるお話
から!

【駅舎の古レールの話しその①】

この岩見沢複合駅舎の窓枠には古レール
が使われています。その大半が旭川のヤード
で眠っていたもの。それを集めて曲がり
を直し、錆を落として使われています。良く見
ると、レールの側面にある数字やローマ字
が白く塗られていることに気づくと思いま
す。これはレール1本1本の自己紹介です。
いつでもどこで作られたレールなのか分かる
のです。例えばこの写真のレールは鉄鋼王
カーネギーやカーネギーホールで有名なアメ
リカのカーネギー社が西暦1900年12月に
製造したレールという意味になります。スゴ
イですよ! 今から117年前にアメリカで作
られたレールが岩見沢駅の窓枠に使われて
いるのです。実は全部で232本、他にも4カ
国10社(他8本は詳細不明)の多様なレール
が使われています。さすが鉄道の街と言わ
れた岩見沢の駅ですね。

なかなか
グローバルだワン!
やるワン!

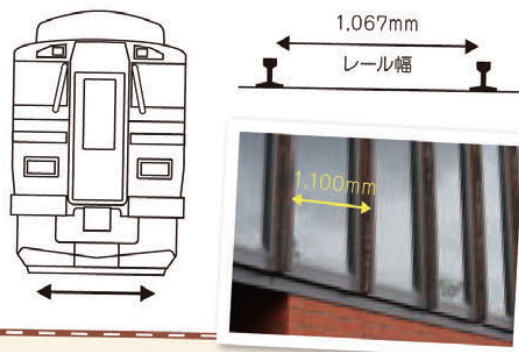
【駅舎の古レールの話しその③】

駅舎に使われている232本のレールの内、7本が
ちょっと見慣れぬ年代のもので、2605って刻印し
てありますがこれも年代表記なのです。未来? 不思議
ですね! 実はこれは西暦ではなく、日本書紀で
神武天皇が即位した紀元前660年を元年とした(皇
紀)です。これは1945年に国内の八幡製鐵所でつく
られたレール。当時は太平洋戦争中で西洋由来の西
暦の使用を避けていたのです。ちなみに、有名な戦
艦上戦闘機「零戦」は皇紀2600年に採用されたので零式
艦上戦闘機と通称「零戦」と言われました。この皇紀
表示レールの7本の内5本は、駅舎正面側の比較的
見やすい場所にあるので是非探してみてください。
当時この様な表記をしなければならなかった社会背
景に想いを馳せながら。(ちなみに今年西暦2017
年は皇紀2677年となりますね。)

歴史のロマンも
感じるワン

【駅舎の古レールの話しその②】

窓枠のレールの間隔は絶妙です。物理的に難はあ
りますが、実際の電車を走らせることができる幅
だって知っていました? 実際のJR在来線のレール間
隔は1,067mm。この駅舎の窓枠の幅は1,100mm。
JRの安全基準値には満たないものの、無理をする
と電車を壁に貼り付けることができちゃうかも。
でも、これは狙って出来た幅ではなく、岩見沢の豪雪
に耐える天井のコンクリート梁の幅が、工場からトラ
ックで2本並べて運搬する都合で1,100mm幅に
なった。結果として駅舎の幅は全て1,100mmピッチ
で作られたゆえの副産物と聞かれています。



【駅舎の古レールの話しその④】

岩見沢駅のホームにばんえい競馬の木像がありますが、その周辺の柱や天井の梁を見ると古レールで出来ているとい
うのは知っていますよね? その他にも、駅から自動改札を出て古い跨線橋を歩きながら天井を見ると、この梁も古レールで
できています。そして、ここにも珍しいレールがあるのです。

KRUPP GERMANY 1890 HTTと刻印されています。1890年に北海道炭鉄道会社(以下北炭)がドイツのクルップ
社に発注したレールという意味合いになるのですが、これは本当に貴重な歴史が背景にあります。

北炭は北海道開拓使が官営幌内鉄道と幌内炭鉄等を民間に払い下げる際につくられた会社。主に幕末期に活躍した薩
摩藩の名士達が中核を担い、出資者には福沢諭吉などの経済界のビッグネームが名を連ねるのです。なぜなら、現在の石
炭と言えば非効率な過去のエネルギー資源というイメージですが、明治期においては産業革命を牽引した最先端エネル
ギー。北炭はそのエネルギー生産と物流を一手に担った一流企業です。何と、そのような大企業が明治37年から鉄道国
有法のできる明治39年までは本社が岩見沢にありました。その面影として南北自由通路(有明連絡歩道)の北側の大きな
硝子窓から見える1899年竣工の岩見沢レールセンターがありますが、壁面にある特徴的な五稜星のマークは北炭の社章
です。当時はあの様なレンガづくりの大きな建物が複数並んでいたとのこと。きっと壮観な景色だったことでしょう! 余
談ですが、このレールセンターの内部も古レールで補強されていますが、最も古いものは1876年製のアメリカ製のレール
が存在しています。

岩見沢繁栄の歴史が
レールに刻まれて
いるワンね

ちなみに、ドイツのクルップ社は鉄鋼系の大企業です。しかし、も
う一つの顔として大砲等の軍事産業としても有名です。前号で紹介し
た榎本武揚は、オランダ留学中にクルップ社の社長と会話し、その時に
幕府の軍艦「開陽丸」の大砲を注文したと言われています。結果、開陽
丸には18門のクルップ砲が装備されていました。また、函館の五稜郭
でも箱館戦争当時のクルップ砲が一門展示されています。この岩見沢
駅にある古レールから、江戸幕府や明治維新の出来事へと想いをはせ
る事ができるのも歴史の深さですよ。

※この北海道炭鉄道会社ことは、いずれ機会があれば現在日本
遺産登録にも機運が高まりつつある「炭鉄港」と岩見沢を絡めた回で
ご紹介してみたいと思います。

結構頻繁に利用する岩見沢複合駅舎ですが、意外と知らないことも沢山あったでしょう? 次回の後編も、あまり知らなそうなことをメ
インにご紹介させていただきますね! 今の岩見沢駅は結構面白いことが盛り沢山! 是非現地で探して見てみてください。

CivicPride探求部!

それいけ!岩見沢

まちの誇りを
見つけに行こう!

※写真撮影協力/JR北海道



文:平野 義文

岩見沢 CivicPride探求部
主宰、そしてハチ吉くん
のババさん

3

おもしろ岩見沢駅 複合駅舎編

〈これであなたも駅舎ファン〉(後篇)

前回ご紹介した岩見沢複合駅舎(前篇)はいかがでしたか? レールに関することを主体にご紹介させていただきましたが、結構知らないことも沢山あったのではないかと思います。今回は更に岩見沢複合駅舎の事が詳しくなるように、もう少しだけ紹介してみますね。いつもの如く脱線も少々あると思います。



平野ハチ吉
ゴールデンレトリバー
オス・2歳

今回ハチ吉と
ババさんが
ナビゲートするワン!

【そもそも複合駅舎って何?】

まちの規模に対して随分と立派で大きな駅ですね。と良く言われます。しかし、実は「JR北海道の駅」としての場所は結構小さいのです。他は全て岩見沢市の施設となります。その内訳をご紹介します!

立派な駅だと言っても、本当に駅としての機能を有している部分はそれほどでもないことがわかりますね! ちなみに、建設費はJR北海道の駅機能部分が約6億円、センターホールなどがある市の施設が約8億円、駐輪場、連絡歩道、北昇降棟部分で合わせて約15億円となっています。建物のスケールとしては省エネの部分もあり、比較的ローコストと言って良いと思います。また、その財源は国のまちづくり交付金や合併特例債を活用しているため、市の予算持ち出しはかなり少なく建設できているのもポイントのひとつです。



※CG制作/佐々木 尊洋(STデジタルワークス)

前号でも紹介したとおり、まちづくりの中核となる建物としての性格もあるため、是非、センターホールやギャラリーなどで、色んな市民発のイベントが活発に開催されることを期待しています。



(ペットのイベントで
たくさんのおやつが
食べられるといいワン…。
ハチ吉心の声)



ロマンチックだ
ワン♡



北村にある啄木の歌碑
(岩見沢市北村豊里1093)

【石川啄木と岩見沢駅】

もっと紹介したいところは沢山あれど、スペースの都合でなかなか叶いませんね。そこで最後にシビックプライド探求部らしいものをご紹介しますね。

実は石川啄木と岩見沢には深い縁があります。啄木は明治40年に函館と一緒に教員をしていた橋智恵子さんに恋心を抱き、明治43年末出版の歌集「一握の砂」に収められた「忘れがたき人二」の22首でこの智恵子を書きます。しかし智恵子は明治43年5月に現岩見沢市の北村農場に嫁いでしまっており、翌年1月に届いた礼状には橋智恵子ではなく北村性に。

その後、啄木が東京で肺を患い、栄養もままならない貧困に喘いでいることを知り、智恵子は夫の同意のもとで、当時高価で入手困難だったバターを送る。その時に啄木が詠んだ歌が、北村の「石川啄木歌碑」にも刻まれています。

石狩の空知郡の
牧場のお嫁さんより送りき来し
バタかな。

ー悲しき玩具よりー



また、明治41年1月19日には、啄木は小樽から釧路に向かう途中で岩見沢に一泊しています。なぜなら、明治39年に北炭が経営する鉄道が鉄道国有法の発布により国鉄に変わりましたが、その国鉄に変わってから2代目の駅長(明治40年11月5日~2.4年間)が啄木の姉の夫、すなわち啄木の義理の兄なのです。

ここに啄木が岩見沢に一泊したときの記述があります。

(略)程なく岩見沢に下車して、車夫を呼ぶと權率(ごんすけ)が来た。今朝家を出た時の如く、不景気な櫓に賃して四時頃此姉が家に着いた。途中目についたのは、雪の深いこと地に達する氷柱のあつた事、凍れるビールを暖炉に解かし、鶏を割いての楽しい晩餐は、全く自分の心を温かにした。(略)ー「石川啄木全集 第八巻」筑摩書房1986年ー

翌1月20日午前10時半岩見沢発二番の旭川行きで出発しようです。雪深く、地面に届くつらら。凍ったビールは恐らくサッポロビールの前身でしょうか。当時の岩見沢の情景が目に見えそうです。

【駅舎に纏わるレンガのお話し その①】

岩見沢複合駅舎で使用されているレンガは江別産です。ちなみに一般的な国産赤レンガは210mm×100mm×60mmサイズですが、岩見沢駅のは特注サイズで一回り大きく、中に鉄筋が入る穴があいています。と、「そもそも、どうして岩見沢で赤レンガ?レンガで有名なのは江別。関係ないでしょう?」という方も多いと思いますが、明治開拓期、まだまだ鉄筋コンクリートの技術は確立していなく、橋桁や構造物の基礎、立派な建物などは軟石やレンガで作られることがほとんどだったのです。よって今なお、昔の橋桁やホームの基礎など、いたるところで古いレンガを見ることができます。特にこの近辺では前回もチラッとご紹介した駅の北側にある岩見沢レールセンターが思い出されます。このレールセンターは竣工が1899年と言われているので、約120年近くあの場所で使用され続けている立派なレンガづくりの建物ですよ(有名な横浜や小樽、函館の赤レンガ倉庫より古いんです)。

ここでいきなり脱線してしましますが…

実はそのレールセンターに使用されているレンガの生産地がどこかがわかりません。自分がこれまでに考えられると思っているのは二箇所。一つはレールセンターが竣工する前年の1898年、北炭(前号も出てきましたね)が野幌にある民間のレンガ工場を買収して直営のレンガ工場を稼働させたことから、そこのレンガを使用している可能性が考えられる。もう一つは当時の集治監(監獄)はどこでもレンガを作っていたということなので、三笠にあった空知集治監でつくられたレンガの可能性。こちらは北炭の事務所長である渡辺惟精が空知集治監の初代典獄(刑務所所長)と兼務していた(これも凄い話ですよ)ことから、非常に可能性が高いと考えています。そこで以前、現存する典獄官舎レンガ煙突のレンガサイズとレールセンターのレンガサイズを計測して比較してみた事があるのですが、残念ながら全く規格が違ったので、すんなり謎が解明とはいきませんでした。真相は謎のままです。これまで誰に聞いても不明なままなので、どなたか知っている方がいれば是非教えてください。



岩見沢複合駅舎の外観に
使われている赤レンガ

【駅舎に纏わるレンガのお話し その②】

岩見沢複合駅舎は比較的大きな建物ですが、実は省エネ仕様になっているのをご存知ですか? デザインの大きな特徴となるガラス多用の建物は、冬期間などは寒気が伝わり暖房効率が非常に良くないのです。そのため、よく見ると実は駅舎全体が二重構造になっていることに気づきます。これは、ガラスで覆われた外側の大きな箱の中に、市民ギャラリーや観光協会などが入った部分と、i-BOXやJR事務所機能等の入った2つのレンガづくりの箱がある構造。実は空調が入っているのはこのレンガの箱の中だけで、それ以外のところは、冬は太陽光で暖められ、夏は風を取り入れて室温を下げる省エネ仕様になっています。だから、冬は寒く夏は暑くて大変な時もあると思いますが、納得ですね。

と、これまた最初から少し脱線しましたが、このレンガの2つの積み方を紹介したいのです。特徴的なのは透かしレンガ積み。夜は室内の温かい光が漏れて美しいのですが、このガラスは職人さんが1枚1枚手作業で入れたもの。大変な作業の賜物です。



寒い岩見沢の冬を
あたたかく過ごす
工夫だったワンね



そしてこの積み方! ちょっと変わった積み方ですよ。これは小端空間積みというもの、北国の寒冷地に適した積み方と言われ、北海道に現存するレンガづくりのサイロなどはこの積み方が多かったと言われています。

なぜなら、この画像のように、レンガとレンガの間に空気層があり、この隙間が断熱効果を発揮する構造になっているのです。岩見沢複合駅舎のレンガもこの構造を再現しています。これら一つ一つが設計者の拘りなのです。(ちなみに岩見沢複合駅舎は鉄筋コンクリート造なので、このレンガの積み方は表面だけを真似たフェイクです。でもこういう些細な積み方に拘ることができる設計者って凄いです!)

さ

て、前編・後編と二号にわたって岩見沢複合駅舎に関連するお話をさせていただきました。もっと詳しく駅のことを知りたいという方は、駅舎2Fにある展示コーナーに古レールガイドがあります。また、1Fの観光協会に隣接するイフボでは、もっと詳しく岩見沢駅のことを紹介した「ゆあみくんのいわみざわ駅ガイド」を500円(税込)で購入することもできますので、是非お手にとってみてください。

あらためて、「岩見沢は駅から始まったまち。だから新たなまちづくりも駅から始めよう」という機運も高まりつつあります。そのために、まずは岩見沢の歴史を表現している駅だということをもっ



ゆあみくんが駅舎をわかりやすく説明してくれます

と多くの人たちに知ってもらえたら嬉しいです。

さて、次回は岩見沢に纏わるみんなが知ってほしい話! 「岩見沢のへんそ!」を細かく紹介したいと思います。

CivicPride探求部!

それいけ!岩見沢

まちの誇りを見つけに行こう!

※写真撮影協力/JR北海道



文:平野 義文

岩見沢CivicPride探求部
主宰、そしてハチ吉くんの
パパさん今回もパパさんと
一緒にさがすワン!

岩見沢市民の 生活を支えた “宝の水”

平野ハチ吉
ゴールデンレトリバー
オス・2歳

全国的に人気急上昇中の空知ワイン。先人たちの苦勞が報われた証ともいえますね。

今 回のシビックプライド探求部は、岩見沢の歴史を知るにはとても便利な和田高明氏著の『原域岩見沢ポケットガイド(郷土かるた)』(※1)で紹介されている内容を元にアレンジし、意外と知られていない岩見沢のことをご紹介したいと思います。

今回のこれっとはワインや実りの秋にちなんだ号ということもありますので、せっかくなので今回はワインに関するお話からスタートしましょう。

「宝水」の名

岩見沢にある有名なワイナリーとして「宝水ワイナリー」は皆様ご承知の通りですよね。大泉洋さんが主演の映画「ぶどうの涙」のロケ地としても有名です。ちなみに、宝水という名も宝水町という地名から知っているの方が多いですかね?

では、そもそも宝水町という地名はど

のような経緯でつけられた名かご存知ですか?

元々、この地域は三笠にあった空知集治監の囚人によって切り開かれた土地で「野々澤地区」と言われます。当時、囚人の開拓は岡山側から順に進み、一の澤、二の澤、三の澤と名付けられました。一の澤は、岩見沢上水道発祥の地

(※1)
原域岩見沢ポケットガイド
〈郷土かるた〉 和田高明氏著

今回の原稿の元とさせていただいた文献です。

この郷土かるたは、作者の和田高明氏が様々な岩見沢にまつわる文献等資料を調べ、誰にでもわかりやすく、五十音順のかるた形式にしてエピソードを紹介したもの。北海道開拓の頃から現在に至るまで様々な事象がまとめられています。現在は販売されていませんが、岩見沢市立図書館などで見ることができそうです。私自身、1冊しか持っていないので、画像の通り見すぎてボロボロになっています。

僕のパパさんは
勉強熱心だワン!
エッヘン!



一の沢水源池

原域岩見沢ポケットガイド
(郷土かるた)

(※2)
岩見沢の上水道

岩見沢は飲料水にとっても苦勞した地でした。

明治17年、札幌県勸業課(現道庁)の派出所が4箇所の井戸を開さくしたものの、常時使える湧水は無し。その解消のために、明治19年には市来知川をせき止め、素焼土管で元町まで水道を引いたものの、漏水を管理できず失敗に終わりました。これは近代水道では明治6年の横浜に次ぐものと言われています。

また、井戸を掘って湧水があっても金銭が多く、幾春別川は洗炭により真っ黒。住民は良質な水を確保することとは叶いませんでした。ちなみに市内に「お茶の水」という地名があります。本州では「お茶をたてられるほど綺麗な水が出る」という意味合いで名付けられたらしいのですが、岩見沢では、泥炭地のため水が赤茶けていて「番茶の様な水が出る」という意味合いでつけられたと言われています。

そこで住民悲願の上水道整備が明治39年に着工(41年10月竣工)。一の澤溪流を水源とした上水道が整備されました。工事には当時の町予算の5倍という莫大な費用がかけられたそうです。

この上水道は北海道では函館に次いで2番目の早さ。全国でも13番目という驚異的な早さで整備されたのですが、その理由は、先人が水に悩まされ続けたという苦しい背景がありました。

大人になったら(?)
僕もワインを
飲んでみたいワン



それいけ!岩見沢



ヨーロッパの景色にも
似ていると言われた
ことがあるワン!

宝水ワイナリーを遠くに望む、岩見沢東部丘陵地帯。





応接室のシャンデリアは昭和40年代のもの。建物が建ったばかりの頃は電気が通じておらず、天井からはランプが下がっていたようです。



あたたかい日差しがさしこむ縁側。ずっと読書していたくなります。

<尚、本原始林や邸宅は私有地で、無断立ち入りはできませんのでご注意ください。>



辻村もと子さん36歳の時の作品。長沼町には『馬追原野』の文学碑が建てられています。



岩見沢の文学発祥の地と
言ってもいいかも？

現実の世界では、その土地の取得後、直四郎さん達は益々開墾に励み、農場経営でも大成功を収めていきますが、この自宅周辺の原始林は、開拓当初の風景を後世に伝えようと1町5反の範囲で意図的に残したものの。そのお陰で現在、私達も当時の面影に触れることができる。近年、この原始林はアオサギが営巣する志文コロニーにもなっています。

その原始林の中、今なお残る洋風邸宅(※4)の中にただ一つだけ白い洋間があり、そこにもと子さん由来の品々が保管されています。一昨年、初めて本格的な調査が行われた結果、軽く1,000点を超える膨大な資料が整理され、その中から、もと子さんの未発表原稿が発見されました。「山脈」という題で、現在、直四郎さんのお孫さんのお嫁さんである(辻村淑恵(※

5)さんの意向により、辻村家資料研究会の方々の手によって刊行準備作業が行われており、間もなく発表される予定です。また、その刊行を記念して、2月25日(日)14時から岩見沢図書館で「文学トークふるさと作家辻村もと子を読み解く」『山脈』刊行によせて」が開催され、2月13日・3月25日の期間は、郷土科学館にて「企画展辻村もと子の生涯」志文が生んだ樋口一葉作家」が開催されます。是非足を運んで、この機会に辻村家とまちの歴史に思いを馳せてほしいと思います。

今回、紙面の都合上、辻村家の凄さの上辺しかご紹介できないのが残念ですが、知れば知る程、大河ドラマになってもおかしくない程のスケールで展開される辻村家のストーリーを、是非、機会があれば触れてみて下さい。

み なさんは岩見沢市内から国道234号を栗山方面に向かう際、ノースファームストックさんを少し超えたぐらいの右手に、鬱蒼と茂る原始林があるのを知っていますか？また、その林の中を良くみると、大正2年(104年前)頃に建てられた岩見沢初の洋風建築を見ることが出来ます。

実はこの地は、今から125年前の明治24年、現在の東京大学農学部的前身である東京農林学校を中退し、北海道開拓に夢を抱いて渡道してきた22歳の若者が入植した地です。

その名を辻村直四郎さんといいます。

直四郎さんは現神奈川県開成町出身。自作農の四男に生まれ、自分の農地を持つことが叶わなかったことから、「北海道に行けば自分の土地を手

辻村邸の凄さを伝えたい

岩見沢市郊外に佇む辻村邸は大正2年頃に建造されました。当時の人々は原始林の中に建つこの邸宅を「森の西洋館」と呼びたえたといます。北海道開墾当時のロマンを感じますね。



に入れる事ができる。」と考えていたものの、道内の広大な土地の大半は、既に貴族、財閥、役人、実力者等の所有になっていて、日々道庁通いをして折衝するも埒がいかない状況に苦心します。

結果、知り合いの所有する未開の長沼(馬追)の開墾を依頼され、その責任

この小説『馬追原野』は、第1回樋口一葉賞(※2)を受賞し、国内文学界で高い評価を得ます。その内容は北海道開拓当時の息遣いを今に伝えるものであり、父・直四郎さんからの聞き取りや長沼時代の開拓日記を基にした、父をモデルとした小説。厳しい開墾作業を行いつつも自らの土地を求め、やっと縁あって志文(※3)の現在地を手に入れ、この地に入植したところで物語は終わります。

この地を手に入れ、現在地に入植するまでの流れは、直四郎さんの長女である岩見沢生まれ岩見沢育ちの「もと子(※1)」さんが昭和16年に著した小説『馬追原野』で知ることが出来ます。

その後、やっと縁あって役人が他人名義で所有していた土地を購入できる機会を得て、本家から借金をして購入したのが、この志文の土地。念願の自分の土地となります。

者として開墾に励むことに。その忙しい合間を縫い、情報を集めては上川方面などに赴き自分の土地を手に入れることを夢見て努力します。



今年も成年、
このコーナーの主役は
ボクだワン! (?)

ひらの きち
平野ハチ吉
ゴールデンレトリバー
オス・2歳

まちの誇りを見つけに行こう!

※写真撮影協力/辻村邸



ひらの よしふみ
文:平野 義文
岩見沢CivicPride探求部
主宰、そしてハチ吉くんの
パパさん



コラボ企画

郷土科学館と市立図書館で

ふるさとの作家

辻村もと子

がよくわかる！

企画展

「辻村もと子の生涯 - 志文が生んだ樋口一葉賞作家 -」

平成30年2月13日（火）～3月25日（日）

会場：岩見沢郷土科学館

※入館料 一般310円 小中学生100円

『馬追原野』で昭和19年に樋口一葉賞を受賞し、昭和の女流作家として活躍した辻村もと子。岩見沢志文に現存する貴重な文学資料を展示し、もと子が歩んだ足跡をたどります。

文学岩見沢の会が刊行する『山脈』の生原稿は初公開！

文学トーク

「ふるさとの作家 辻村もと子を読みとく」

平成30年2月25日（日） 午後2時より

会場：岩見沢市立図書館

※参加無料

辻村もと子の未発表原稿に描かれた岩見沢のすがたを、解説と朗読で再現。岩見沢郷土科学館企画展「辻村もと子の生涯」の見どころもお話しします！

○辻村もと子の作品に描かれたいわみざわ

- ・解説 辻村家資料研究会 代表 村田文江さんほか
- ・朗読 朗読ボランティア 高橋美智子さん

○辻村もと子『山脈』によせて

文学岩見沢の会 代表 堀 利幸さん

特別展示「市民文芸誌 文学岩見沢のあゆみ」

平成30年2月3日（土）～2月27日（火）

会場：岩見沢市立図書館

市民の手で昭和44年から刊行を続ける総合文芸誌「文学岩見沢」の歴史をたどり、創刊号から最新96号まで一挙に展示！

お問い合わせ

岩見沢市立図書館

春日町2丁目18-1
TEL 0126-22-4236

岩見沢郷土科学館

志文町809-1 いわみざわ公園内
TEL 0126-23-7170

それいけ！岩見沢



辻村直四郎さんのお孫さんのお嫁さんである辻村淑恵さん。手作り菓子の店「グランマ・ヨシエ」オーナー、「文学岩見沢」での事務と、多忙な日々をこなしていらっしゃいます。



「文学岩見沢」
定価¥1,000
(1月と7月の年2回発行)
昭和44年10月に創刊以来、長年地域に根ざした文芸誌を刊行。掲載ジャンルは幅広く、小説、評論、随筆、詩、短歌、俳句、川柳など多岐にわたる。発行元の「文学岩見沢の会」では、文学バスツアーや文学セミナーなどを開催しています。



を行ってアメリカ農法を学び、その後の農場経営でも大きな成功を収めています。
直四郎さんの実直な性格と思われるが、経済的にもとても豊かであった中、決して華美とは言えない質実剛健な邸宅を建てています。その中で、ただ一部屋だけ白壁の洋間があり、現在ももと子さん所縁のものが保管されていますが、本邸宅は現在104年が経過しているため、外壁等も劣化が目立ち心配が募ります。

(※1)辻村もと子

直四郎さんの長女で明治39年生まれ。今なお残る前述の邸宅で育ちます。直四郎さん達有志でつくった寺小屋から転化した志文尋常小学校に通い、卒業後は父の実家である祖父母の元から小田原高等女学校に通い、その際、親戚である日本山岳会の先駆的な人物である辻村伊助と妻のローザから英語を教わる。しかし、祖母が亡くなり僅か1年で函館道愛高等学校へ転校。1年年下に石川啄木の長女（京子）がいて、ともに文学を語り合う仲だったそう。

その後、数多くの作品を発表し、文学界において高い評価を得るが、昭和

21年5月に持病が悪化し、岩見沢市立病院にて死去。

早逝しなければ、馬追原野の続編として志文開拓の物語が存在したかもしれないかと想像すると残念です。

(※2)樋口一葉賞

日本文学報告会(※6)が昭和19年に新進の女流作家に授与すべく制定したもの。もと子さんはその後、昭和20年に「月影」で芥川賞候補となるが、戦況が悪化し賞そのものが中止となる。樋口一葉賞も戦時中ゆえに、もと子が最初で最後の受賞者となった。



(※3)志文の地名

この地一帯をアイヌ語では「シュブンペツ(ウグイの来る川)」と呼ばれていたことから、直四郎さんが「志文」と名付けます。辻村もと子著「早春箋」文中、直四郎夫妻の会話にて「あなたは土に志をなすたのに…」と申しましたら、いや俺達の子供に、ひとりぐらいは文に志すものができるかもしれないと笑いました」とあり、まさに「もと子」さんがそれを叶えたと言えます。

(※4)洋風建築

直四郎さんは開墾も一段落した明治32年、29歳の若さで当時は非常にレアケースだと思われる5年間の単身渡米

(※5)辻村淑恵さん
同人誌「文学岩見沢」事務局長として、岩見沢の文学界を支えています。また、小説家として、小説「オート・リバス」で第1回小谷剛文学賞を受賞しています。

現在はシフォンケーキ等のお菓子で有名な「グランマ・ヨシエ」も経営。そのお菓子は保存の意図もあり、104年前の洋風邸宅の中でつくられています。

(※6)日本文学報告会

事務局長は新潮編集長を担った岩見沢出身の中村武羅夫。岩見沢市東山公園と神奈川県藤沢市に、プロレタリア文学を批判した有名な評論を記した「誰だ 花園を 荒らすものは」という一文が刻まれた石碑がある。





三笠市にある旧北炭幌内炭鉱幌内立坑櫓。4月22日(日)のシビックプライドDAYでは、そらち炭鉱の記憶マネジメントセンターの吉岡宏高先生に「炭鉄港」のお話を詳しく伺います。



北村郷土資料コーナー「北村の記憶」展示より、松の枝と松ぼっくりを焼いて網焼きにした羊肉。いい香りが肉にうつって燻製のような味わいが想像されますね。機会があればぜひみなさんも試してみてください!

4月はボクの誕生月だワン!



ひらのよしふみ
平野ハチ吉
ゴールデンレトリバー
オス・2歳

のまちの色々なエピソードに気づくことができそうです。まさしく今の私達は自分達のまちの歩みを全然知らないのかもしれません。それは言い換えると自分達のまちの価値や可能性に気づけないとも言えるのかもかもしれません。このシビックプライド探求部を始めたきっかけは、実は私自身の無知を認めたこんな想いがスタートだったのです。

今現在を点としてまちの未来を見ようとしても根拠あるイメージは湧きませんが、自分達の地域の歴史を紐解き、その歴史と現在を軸とした延長線上にまちの未来を考えることができれば、それは理に合った地域戦略になりうるはず。だからこそ、少しでもまちの歴史やその側面を知ることが楽しいと感じてもらい、一緒に学んでいける人を増やしていけたらと思っています。

そこで唐突ですが最後に告知です。実は4月22日(日)に朝10時から夕方5時近くまで、この様な知り気づきを楽しめる「岩見沢シビックプライドDAY2018」岩見沢再発見!おもしろセミナー」を開催します。第一部は僭越ながら私が岩見沢の「歴史トリビア的なお話」を抽出して簡単に紹介させていただきます。第二部は是非連載で詳しくご紹介したかった「炭鉄港」の事を、第一人者である吉岡宏高氏に教えていただきます。そして第三部は前号でご紹介した辻村家のごとを、辻村家資料研究会の方々の専門的意見をいただきながら紐解きます。更に第四部では番外編として人と地域の自己肯定を共通項とし、未来を担う子どもたちの育ちに関する話題を岩見

ん?太ったって誰のせい??



沢プレーパーク研究会の皆様と語ります。最後に第五部は一日のまとめとなります。詳しくはチラシをご覧ください。そればと思うのですが、どれか一部だけでも、一日中聞いてくれても千円です。冷やかしか大歓迎ですので、是非多くの人と岩見沢の未来の価値に思いを馳せることができればと思っています。

さて本当の最後に。論語では「道(みち)に聴(き)きて塗(ぬ)みち」に説(く)は、徳(とく)を之(これ)を棄(す)つるなり。」と言っています。聞きかじりで安易に物事を語っちゃいけないよ、と解釈できると思うのですが、まさしく私はこの教えに反することばかりです。この連載も、いわば聞きかじりをご紹介しているだけなので、どこかで孔子に出会ったらきつと叱られることでしょう(笑)。しかしこれらを機に、少しでもまちの事に関心を持ってもらえる機会が増えたら叱られても報われます。またどこかでお会いできることを楽しみにしつつ、私自身、聞きかじりでお伝えできることを貯めていきたいと思っています。

大変拙い連載でしたが、お読みいただけて本当にありがとうございます。またこの様な機会を頂戴したこれと編集部の皆様にも心から感謝申し上げます。

追伸:ハチ吉は4月で3歳になります。写真の頃より少しお太りになられて貴禄ができましたが、日々元気に笑って過ごしています。

まちの誇りを見つけに行こう!

※写真撮影協力/辻村邸



ひらのよしふみ
文:平野 義文

岩見沢CivicPride探求部
主宰、そしてハチ吉くんの
パパさん



これまで連載させていただいたことがあったとしても、この号で一旦お休みになるこの号で、当連載も同じく一回お休みです。

私自身、10年ほど前までは、地域の歴史に興味もなければ知識も全くありませんでした。それがちよとしたきっかけで地域の歴史を知ることの面白さに気づきます。どの地域も同様で、岩見沢にも脈々と流れる歴史があり、それらを知れば知るほど「へえ〜!そうなんだ!」と驚く様な出来事に出会えてしまつて楽しくなります。

例えば、現在のグリーンランド遊園地付近には「冷水」という地名があり、その周辺は約3,500年前の縄文海進時には海岸線で、生活に適した環境だったと思われ、明治20年半ばの初期

岩見沢の「へえ〜!」を探して

グリーンランド遊園地前、まっすぐな一本道のポプラ並木は、今や岩見沢を代表する風景となっています。



開拓時から沢山の石器等が出土していたとか!また、現在の観覧車付近には坊主山という小さな山があつて、その山は岩見沢駅操車場から志文駅へ貨物輸送の線路が敷設される時の土取り場として切り崩されてしまつて、現在の様になつていているらしい。あと、今のリフト乗り場周辺には競馬場があつたんですって!へえ〜ですよ。



北村では、樺戸集治監による脱獄囚の見張り地の役割を担いながら、壮絶な湿地帯である泥炭を克服して現在の素晴らしい農地があります。また、冬の貴重な副収入として早くから綿羊の飼育を始め、大正13年より羊毛を使用した純国産ホームスパン(糸の太い手織りの毛織物)の生産が行われ、それらは天皇に60着分も納入するほどの高い評価を得ていたとか。

更に大正13年には北村で「羊肉料理法」というパンフレットを作成しており、そこで紹介されている「羊肉の網焼き」と、昭和2年に東京で紹介された「成吉思汗鍋(じんぎすかんなべ)」には類似点があり、もしかしたら「日本の成吉思汗鍋発祥の地は岩見沢市北村だ!」という事も言えるのかもしれない。残念ながらその真相はわからないのですが...

余談ですがこの羊肉の網焼きは、羊の臭みを抑えるために「松の葉や、松ぼっくり」を焼いて網焼きする調理法(次頁画像頁参照)が紹介されており、是非、何かの折に試してみたいと思わされます。更に、「羊肉の達眼揚げ」や、「羊肉のすき鍋」などのレシピもあるらしく、これらの開拓からのストーリーを整理していけば、北村地域の名物として即戦力として復活可能と感じますよね。

へこれら北村のことは、北村環境改善センターにある北村郷土資料コーナー「北村の記憶」で詳しく知ることができそうですので、是非足を運んでみてください!へ

この様に少しだけ地域の歴史に興味を持ち始めると、事あるごとに自分達